

# WordPress レッスンブック

## 5.x対応版



エビスコム 編著

### 最新情報PDF ver.1.5

2020年12月22日更新

本 PDF では、最新の WordPress 5.x およびテーマに合わせて『WordPress レッスンブック 5.x 対応版』の解説を更新していきます。PDF の最新版については下記サイトを参照してください。

<https://github.com/ebisucom/wplesson>

テーマでは細かい変更が頻繁に行われていますので、定期的に本 PDF を確認していただければと思います。

## 変更箇所一覧

書籍の変更箇所	本 PDF での解説ページ
P.57.....	8
P.99 ~ 100.....	3
P.102.....	8
P.104.....	10
P.106 .....	3
P.123.....	6
P.124.....	4
P.127 .....	6
P.178.....	11
P.199.....	5
P.243 .....	5
P.290.....	9
P.313.....	7
ツールバーやボタンなどのデザイン .....	6
ブロックの追加 .....	7

## 補足解説

「テーマ」または「テーマ構成ファイル」のアップロードについて .....	12
--------------------------------------	----

# WordPress 5.6での変更

<https://wordpress.org/news/2020/12/simone/>

WordPress 5.6 では、完成テーマに影響する変更はありません。ただし、制作の途中で操作につまづきそうな箇所や、書籍と同じ表示にならない箇所がありましたので、まとめておきます。

P.99 ~ 100 ではギャラリーの配置を変更しますが、「左寄せ」にしたギャラリーをクリックで選択するのが難しくなっています。このような場合、右のように「アウトライン（旧ブロックナビゲーション）」を利用すると、簡単に選択できます。

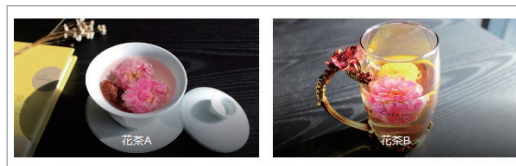
## memo

「アウトライン」にはページを構成しているブロックがリストアップされます。P.242のように選択中のブロックの階層構造を確認するのにも利用できます。



P.106 ではギャラリーのキャプションがオーバーフローし、表示が崩れていました。しかし、グーテンベルクの CSS **B** でキャプションに対して「box-sizing: border-box」が適用されるようになったため、P.107 の設定を追加しなくても崩れずに表示されるようになっています。

ただし、エディタではグーテンベルクの CSS **A** で「box-sizing: border-box」がすべての要素に適用されていますので、P.107 の設定は追加しておくことをおすすめします。



ギャラリーの表示。キャプションが崩れずに表示されます。

```
body {  
  box-sizing: border-box;  
}  
  
body *,  
body *::before,  
body *::after {  
  box-sizing: inherit;  
}
```

P.107の設定。

style.css

STEP 3-7 (P.124 ～) で画面幅を小さくしたり、記事の横幅を設定すると、画像の縦横比が崩れるようになっていきます。

これは、widthとheight 属性が付加された画像<img>の出力に、グーテンベルクのCSS **B** で「max-width: 100%」が適用されるようになったためです。



記事の横幅を指定したときのフロントの表示。  
画像の縦横比が崩れます。

```
<figure class="wp-block-image size-large">
  
</figure>

.wp-block-image img {
  max-width: 100%;
}
```

**memo**

<img>のwidthとheight属性は画像のオリジナルサイズを示すものです。Lazyload(遅延読み込み)に対応したり、GoogleのWeb VitalsでCLS(レイアウトシフト)の発生を防ぐために出力されるようになっています。

縦横比を維持するには、「height: auto」を適用します。この設定は本PDFの11ページに記載したように後から追加しますが、この段階で追加しても問題はありません。

追加する場合、次のように基本的な設定としてstyle.cssの一番上に追加します。



下記の設定を追加したときの表示。  
縦横比が維持されます。

```
@charset "UTF-8";
/*
Theme Name: MY THEME
Author: MONIKER
Description: オリジナルテーマです
Version: 1.0
*/

img {
  max-width: 100%;
  height: auto;
}

.alignleft {
  float: left;
  ...略...
```

style.css

P.199のように画像 <figure class="wp-block-image">に適用されたCSSを確認すると、グーテンベルクのCSS **B** で適用される設定が margin-bottom のみになっています。

これにより、全幅・幅広の画像の表示は P.201 と P.211 のように「max-width: none」を追加なくても実現できるようになりました。ただし、他のブロックで必要になるケースも考えられるため、追加しておくことをおすすめします。

```
.wp-block-image {  
  max-width: 100%;  
  margin-bottom: 1em;  
  margin-left: 0;  
  margin-right: 0;  
}
```



```
.wp-block-image {  
  margin-bottom: 1em;  
}
```



```
.alignfull {  
  margin-left: -10px;  
  margin-right: -10px;  
  max-width: none;  
  width: auto;  
}
```

P.201の設定。

style.css

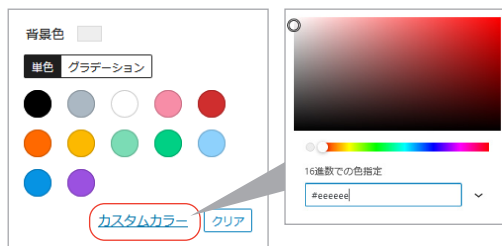


```
.alignwide {  
  margin-left: calc(...);  
  margin-right: calc(...);  
  max-width: none;  
  width: auto;  
}
```

P.211の設定。

style.css

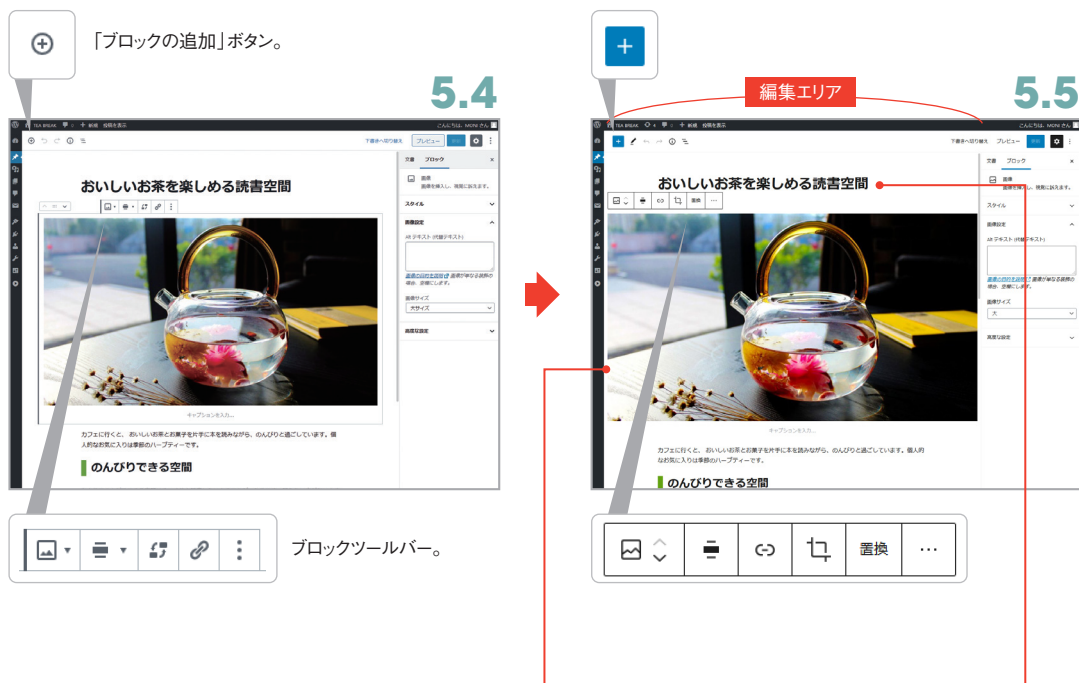
P.243の「ライト・グレー」が標準のカラーパレットからなくなっています。書籍と同じ薄いグレーに設定する場合、「カスタムカラー」をクリックし、色の値を「#eeeeee」と指定してください。



# WordPress 5.5での変更

<https://wordpress.org/news/2020/08/eckstine/>

WordPress 5.5 ではエディタの左右に入る余白サイズや、ツールバーやボタンなどのデザインが変わっています。



ブロックの両サイドに含まれていた余白 30 ピクセル (P.127) がなくなり、編集エリアの左右に入る余白サイズ (P.128) が 10 ピクセルに変わっています。

これにより、P.128 や P.190 のように横幅に「+30px」を追加しなくても、フロントと同じ横幅でブロックを表示できるようになっています (追加したままでも問題はありません)。

```
/* 横幅 */
.wp-block:not([data-align="full"]):not([data-align="wide"]) {
    max-width: calc( 720px + 30px );
}
```

editor-style.css

P.123 のセレクト「.editor-post-title\_\_input」を追加しなくても、タイトルが body で指定したフォントで表示されるようになっていきます (追加したままでも問題はありません)。

```
/* フォント */
body,
.editor-post-title__input {
    font-family: sans-serif;
}
```

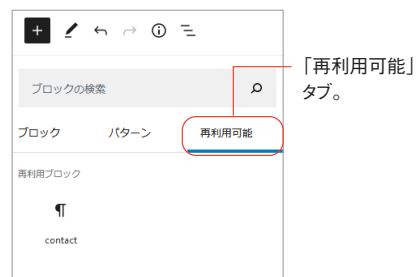
editor-style.css

「ブロックの追加」ボタンで表示されるブロックの一覧は、新しいカテゴリーで分類されるようになりました。本書で使ったブロックの場合、次のようにカテゴリーが変わっています。

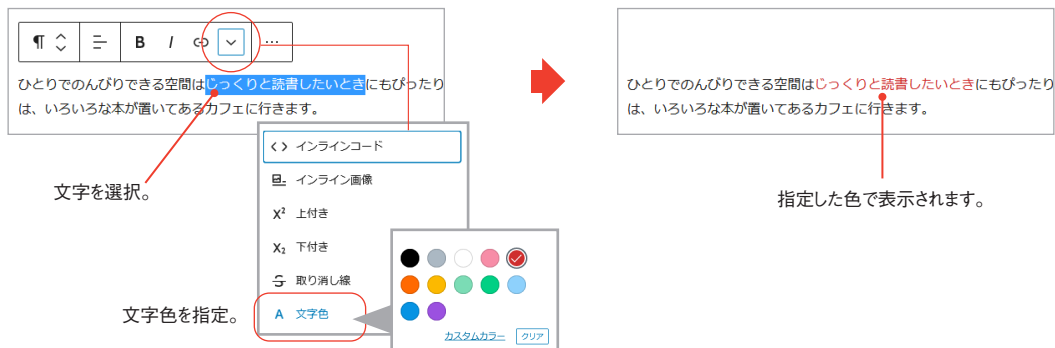
ブロック	旧カテゴリー	新カテゴリー
画像	一般ブロック	メディア
ギャラリー	一般ブロック	メディア
カバー	一般	メディア
メディアと文章	レイアウト	メディア
カラム	レイアウト	デザイン
スペーサー	レイアウト	デザイン
ブルクオート	フォーマット	テキスト
テーブル(表)	フォーマット	テキスト

※P.100の「テーブル」ブロックは「表」ブロックに表記が変わっています。

P.310「[② 再利用ブロックを利用する](#)」で使った再利用ブロックについては、右のように「再利用可能」タブに表示されるようになっています。



リッチテキストで文字のデザインを指定する機能は、WordPress のバージョンアップごとに拡充されています。文字の色についても、P.313のプラグインを使わずに設定できるようになっています。



P.57のようにタイトルをクリックしても記事のURLが表示されなくなりました。記事ページを開くためには、文書設定の「パーマリンク」でURLをクリックしてください。



P.102の「カテゴリー」ブロックのように、「ウィジェット」カテゴリーのブロックを「中央揃え」の配置にしてもエディタでの表示が変化しなくなりました。ただし、「中央揃え」の設定はこれまでと同じようにブロックに付与されるため、P.102やP.103のCSSを適用すると、フロントでの表示は中央揃えになります。

エディタでの表示も中央揃えにする場合、次のCSSをeditor-style.cssに追加してください。

```
[data-align="center"] .wp-block-categories,  
[data-align="center"] .wp-block-latest-posts,  
[data-align="center"] .wp-block-archives,  
[data-align="center"] .wp-block-tag-cloud,  
[data-align="center"] .wp-block-latest-comments,  
[data-align="center"] .wp-block-rss {  
    text-align: center;  
}
```

editor-style.css



# WordPress 5.4での変更

<https://wordpress.org/news/2020/03/adderley/>

WordPress 5.4 では、画像を円形に切り抜くブロックスタイル「丸形マスク」が削除されました。本書では **STEP 9-4** の⑩ (P.290) で使用していますが、「丸形マスク」で設定済みの箇所については、下位互換により表示は保たれます。

新規に画像を円形に切り抜く場合は、「丸形マスク」の代わりに用意された「角丸」スタイルを利用します。

ただし、「角丸」スタイルで円形に切り抜くためには正方形の画像を使用する必要がありますので、**STEP 9-4** の⑩ (P.290) では次のように設定を行ってください。⑪以降は問題なく進めていただけます。



「サムネイル」は 150 × 150 ピクセルの正方形の画像サイズです。画像をアップロードしたときに自動生成されています。

たとえば、サンプルでアップロードした tea.jpg の場合、tea-150x150.jpg というファイル名で自動生成されています。



サムネイルサイズの画像  
(tea-150x150.jpg)。

# WordPress 5.3 RC4での変更

<https://wordpress.org/news/2019/11/wordpress-5-3-rc4/>

WordPress 5.3 の開発で進められていた CSS の変更が RC4 で巻き戻され、グーテンベルクの CSS **B** (P.89) から右の設定が削除されました。

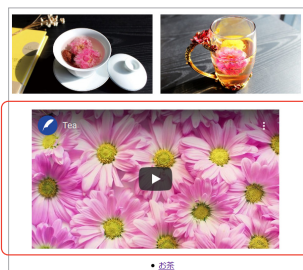
その影響として、**STEP 3-4** の **④** **⑤** (P.104) と **STEP 5-3** の **③** (P.178) の表示が以下になります。

```
img {
  max-width: 100%;
  height: auto;
}

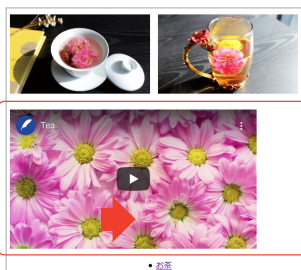
iframe {
  width: 100%;
}
```

グーテンベルクのCSS(style.min.css)から削除された設定。

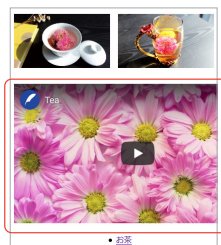
**STEP 3-4** の **④** (P.104) では左右の余白(マージン)を削除しても、YouTube ブロックの横幅が変化せず、500 ピクセルの横幅に固定された表示になります。さらに、**⑤** (P.104) で画面の横幅を変えても表示が変化しません。これは、<iframe> に適用されていた「width: 100%」が **B** から削除されたためです。



左右マージンが入っている状態。



左右マージンを削除したときの表示。



画面の横幅を変えてもYouTubeブロックの表示が変化しません。

ただし、続けて **⑤** (P.105) の設定「add\_theme\_support('responsive-embeds')」を追加すると、YouTube ブロックの <iframe> に **B** の「width: 100%」が適用され、書籍と同じように縦横比を維持したレスポンスな表示になります。



P.105の設定で縦横比を維持したレスポンスになります。

STEP 5-3 の③ (P.178) の表示は以下のように  
なります。こうなる理由は、STEP 5-3 の④  
(P.179) で確認した CSS がなくなり、画像が  
オリジナルサイズのまま表示されるためです。

そのため、削除された設定をテーマの CSS  
(style.css) に追加してください。ここでは  
基本的な設定として一番上に追加しています。  
このあとは、問題なく進めていただけます。

トップページ。



各記事のアイキャッチ  
画像が表示されます。



アイキャッチ画像がレスポンシブになり、  
親要素に合わせた横幅で表示されます。

```
@charset "UTF-8";  
/*  
Theme Name: MY THEME  
Author: MONIKER  
Description: オリジナルテーマです  
Version: 1.0  
*/
```

```
img {  
    max-width: 100%;  
    height: auto;  
}
```

```
.alignleft {  
    float: left;  
    ...略...
```

style.css

## 「テーマ」または「テーマ構成ファイル」 のアップロードについて

### SFTPやFTPSでアップロードする方法

テーマ名が未設定なテーマ (STEP 1-5 で用意するもの) や、テーマの制作過程でファイルをアップロードする場合には、SFTP や FTPS (FTP over SSL) のクライアントアプリケーションを利用して、サーバーにファイルをアップロードします。

SFTP と FTPS は、名前は似ていますが全く異なるプロトコルです。そのため、お使いのレンタルサーバーでどちらが使えるのか、また、使う際の設定方法をよく確認してください。

代表的なレンタルサーバーの設定に関するページは以下のとおりです。他のレンタルサーバーでも、同様の情報が用意されていると思います。



FTPはセキュアではないため、最近ではあまり使いません。FTPとFTPSがHTTPとHTTPSの関係に当たります。

#### Xserver

<https://www.xserver.ne.jp/>

SFTP (SSH):

[https://www.xserver.ne.jp/manual/man\\_server\\_ssh.php](https://www.xserver.ne.jp/manual/man_server_ssh.php)

FTPS (FTP):

[https://www.xserver.ne.jp/manual/man\\_ftp\\_spec.php](https://www.xserver.ne.jp/manual/man_ftp_spec.php)

#### ConoHa WING

<https://www.conoha.jp/wing/>

SFTP (SSH) / FTPS (FTP):

[https://support.conoha.jp/wing/guide/ftpsssh?btn\\_id=wing\\_guide-ftps](https://support.conoha.jp/wing/guide/ftpsssh?btn_id=wing_guide-ftps)

#### ロリポップ

<https://lolipop.jp/>

SFTP (SSH):

<https://lolipop.jp/manual/user/ssh/#p-client-setting>

FTPS (FTP):

<https://lolipop.jp/manual/hp/ftp-set/>

#### カラフルボックス

<https://www.colorfulbox.jp/>

SFTP (SSH):

<https://help.colorfulbox.jp/manual/ssh-use/>

FTPS (FTP):

<https://help.colorfulbox.jp/manual/ftp-conf/>

#### さくらのレンタルサーバ

<https://www.sakura.ne.jp/>

SFTP (SSH):

<https://help.sakura.ad.jp/206054152/>

FTPS (FTP):

<https://help.sakura.ad.jp/206054522/>

#### mixhost

<https://mixhost.jp/>

SFTP (SSH):

<https://help.mixhost.jp/hc/ja/articles/115003742132>

FTPS (FTP):

<https://help.mixhost.jp/hc/ja/articles/115003735291>

## WordPressでアップロードする方法

完成したテーマなど、テーマフォルダ単位で ZIP 形式でパックされたテーマは WordPress の機能を利用してアップロードすることができます。アップロードの方法は次のとおりです。

- ① メニューから [外観>テーマ] を選択し、「新規追加」をクリックします。

- ② 右のような表示になりますので、「テーマのアップロード」をクリックします。

- ③ 「参照」をクリックして ZIP 形式でパックしたテーマを選択します。

ここではダウンロードデータの [themes] フォルダ内に同梱した mytheme9.zip を選択しています。mytheme9.zip は [themes] フォルダ内のテーマフォルダ [mytheme9] (Chapter 9 の完成テーマ) を ZIP 形式でパックしたものです。

選択したら「今すぐインストール」をクリックします。

- ④ アップロードが完了すると、右のように「インストールが完了しました」と表示されます。「有効化」をクリックすると有効化することが可能です。

### memo

LESSONBOOKのダウンロードデータをそのままアップロードすることはできませんので、注意してください

### memo

テーマ名が未設定なテーマ (STEP 1-5 で用意するもの) をこの方法でアップロードするとエラーとなります。



## 最新情報PDFの更新履歴

### ver.1.5（2020年12月22日更新）

- P.3 WordPress 5.6 での変更を追加。

### ver.1.4（2020年9月4日更新）

- P.8 WordPress 5.5 での変更を 2 件追加。

### ver.1.3（2020年8月13日更新）

- P.6『WordPress 5.5 での変更』を追加。

### ver.1.2（2020年4月1日更新）

- P.9『WordPress 5.4 での変更』を追加。

### ver.1.1（2020年2月8日更新）

- P.10『WordPress 5.3 RC4 での変更』に iframe に適用されていた設定と、影響を受ける箇所についての情報を追加。
- P.12『「テーマ」または「テーマ構成ファイル」のアップロードについて』を追加。

### ver.1（2019年11月8日更新）

- P.10『WordPress 5.3 RC4 での変更』を追加。